

日本植物分類学会 第9回大会プログラム

2009年

3月25日(木)	各種委員会 評議員会	(愛知教育大学 自然科学棟) (自然科学棟)
3月26日(金)	9:30-12:30 一般講演 13:00-14:00 ポスター発表 14:00-18:00 一般講演 18:00-20:00 各種委員会	(愛知教育大学第一共通棟301教室) (第一共通棟303教室) (第一共通棟301教室) (自然科学棟)
3月27日(土)	9:00-13:00 一般講演 13:30-14:30 ポスター発表 14:45-16:15 総会・学会賞授与式 16:15-17:30 学会賞・奨励賞記念講演 18:00-20:00 懇親会	(第一共通棟301教室) (第一共通棟303教室) (第一共通棟301教室) (第一共通棟301教室) (第二福利施設 UP[ユーピー])
3月28日(日)	8:30-13:00 エクスカーション 13:30-16:30 一般公開シンポジウム	(瀬戸市寺山川) (名古屋科学館サイエンスホール)

※一般公開シンポジウムの会場は、学会会場とは異なります。

3月26日(金)

9:30-12:15 一般講演 (第一共通棟301教室)

(○印：発表賞エントリー発表，*：発表者，★：現在求職中の発表者)

- 座長：野崎久義(東大・院理・生物)・綿野泰行(千葉大・院・理)
- 9:30 L-01 ○ 緑藻ボルボックス目クロモナスの1種の微細構造と系統/松崎 令*(東京大・院理・生物科学)・仲田 崇志(慶大・先端生命研)・原 慶明(山形大・理・生物)・野崎 久義(東京大・院理・生物科学)
- L-02 ○ 埋土卵胞子由来のシャジクモから示唆された生態的2型間の接合前隔離/加藤将★*(東大・院理・生物)・三沢計治(理研)・高橋文雄(東北大・院・生命科学)・坂山英俊(神戸大・理・生物)・佐野郷美(千葉県立船橋芝山高校)・小菅桂子(神戸大・遺伝子実験セ)・笠井文絵(国立環境研・生物圏)・渡邊信(筑波大・生命環境)・田中次郎(東京海洋大・藻類)・野崎久義(東大・院理・生物)
- L-03 ○ 佐賀県虹の松原における地衣類等を使った環境調査/張 培育*(佐賀大教育学研科)・宮脇博巳(佐賀大学・文化教育)
- L-04 ○ 透過型電子顕微鏡を用いた苔類の胞子体-配偶体接続部の形態形成の解明/鶴沢 美穂子*(東大・院・理・生物科学)・樋口 正信(国立科学博物館・植物)
- 10:30 L-05 ○ 3倍体無配生殖型ベニシダと2倍体有性生殖型ハチジョウベニシダとの人工交配実験/山本 薫*(首都大・牧野標本館)・角川(谷田辺) 洋子(東京大・理・植物園)・海老原 淳(科博・植物)・林 蘇娟(島根大・生物資源)・村上 哲明(首都大・牧野標本館)
- L-06 ○ pgiC遺伝子の分離に基づくヤブソテツ類の同祖染色体対合の頻度/大槻涼*1・佐藤俊博2・村上哲明1(1首都大・牧野標本館 2森林総研 関西支所)
- L-07 ○ カワゴケソウ科の胚発生における垂直軸のボディプランの喪失/片山なつ*(金沢大・院・自然科学)・加藤雅啓(国立科博・植物)・山田敏弘(金沢大・理工・自然システム)
- L-08 ○ 水生被子植物カワゴケソウ科トリステイカ亜科の形態進化/藤浪理恵子*・今市涼子(日女大・理・物生)
- 11:30 L-09 ○ ササユリにおける送粉環境の変化による形態形質の適応/横田静香*・矢原徹一
- L-10 ○ 無融合生殖種ニガナの遺伝的多様性：遺伝構造の集団間比較/中川さやか*・伊藤元己(東大・院・総合文化・広域)
- L-11 ○ 日本産ヤマノイモ属(ヤマノイモ科)の分子系統と分類学的再検討/野田博士★*(大阪市大・院・理・植物園)・山下 純(岡山大・資生研)・田村 実(京都大・院・理・植物)
- L-12 ○ 植栽による攪乱の検討 ～小笠原諸島父島のセンダンにおける事例～/須貝杏子*・森啓悟・村上哲明・加藤英寿(首都大・牧野標本館)

12:15-14:00 ポスター発表 (第一共通棟303教室)

- P-01 ○ 菌従属性の進化の行くつく先は？キンラン属に見られる利用菌根菌の範囲の拡大/坂本裕紀*(東北大・院・生命科学)・横山潤(山形大・理)・牧雅之(東北大・院・生命科学)
- P-02 ○ 接合藻ヒメミカヅキモにおけるホモタリク株の解析：ヘテロタリク株との接合実験から明らかになった「性」の存在/土屋美紀*・土金勇樹★・関本弘之(日本女子大・理・物生)
- P-03 ○ 北硫黄島の蘚苔類/内田慎治*・山口富美夫・出口博則(広島大・院・理・生物科学)
- P-04 ○ 南極・昭和基地周辺に生育する蘚類数種の分子系統学的再検討および簡易同定法の適用/加藤健吾*(総研大・極域科学)・伊村智(極地研)・神田啓史(極地研)

- P-05 ○ Phylogenetic Analysis and Geographical Distribution of the Cyto-reproductive Types in *Pteris excelsa* Gaud. / ジェルワッタナパン タッサナイ★* (千葉大・院・理) ・高山浩司★ (千葉大・院・理, JSPS特別研究員PD) ・綿野泰行 (千葉大・院・理)
- P-06 ○ 一葉植物 *Monophyllaea glauca* (イワタバコ科) の斑入り形成機構の解明 / 加藤静*・吉澤智子・久保奈美子・今市涼子
- P-07 ○ セイヨウオトギリ (オトギリソウ科) の実生の形態学的研究 / 厚井聡★* (奈良先・バイオ) ・加藤雅啓 (科博・植物) ・中島敬二 (奈良先・バイオ)
- P-08 ○ Scape anatomy of *Allium* sect. *Allium* (Alliaceae) in Iran / Martin Miryeganeh* and Ali Movafeghi (Chiba University)
- P-09 ○ Palynological insights of the eastern Asian and eastern North American disjunct genus *Symplocarpus* (Araceae) / 李尚龍* (東北大学生命科学研究科) ・李相泰 (成均館大学生命科学科) ・許莖扱 (成均館大学生命科学科)
- P-10 ○ Pollen morphology and imbrageneric classification of *Alstremeria* L. (Alstremeriaceae) / Sarwar A. K. M. Golam*・星野洋一郎・荒木肇
- P-11 ○ 花粉形態によるハマベンケイソウ属 (ムラサキ科) の分類学的位置 / 福田知子★ (科博・連携協力課) *・池田 博 (東京大・総博)
- P-12 ○ イタドリ属植物及び種間雑種の細胞地理学的研究 / 大澤寛以★*1・森田竜義2・岡崎桂一1,3 1 新大院 自然科学, 2 新大 教育, 3 新大 農
- P-13 ○ 小笠原産タブノキ属植物における生態的種分化の検討 / 常木静河*・村上哲明・加藤英寿
- P-14 ○ ダンコウバイ (クスノキ科) の分子植物地理学的研究 / 戸野品喬★* (首都大 牧野標本館) ・岩崎貴也 (首都大 牧野標本館) ・瀬尾明弘★ (地球環境研) ・村上哲明 (首都大 牧野標本館)
- P-15 ○ フジハタザオ (*Arabis serrata* Franch. et Savat.) の系統地理学的解析 / 佐藤あゆみ* (東北大・院・生命) ・牧雅之 (東北大・院・生命)
- P-16 ○ エコロジカルニッチモデリングを用いた分子系統地理情報の解析 - カエデ属ハナノキ節植物を例として - / 佐伯いく代*1・村上哲明1 (1 首都大・牧野標本館) ・C. W. Dick2・B. V. Barnes2 (2 University of Michigan)
- P-17 ○ 屋久島の高山性ミニチュア植物ヒメコナスビと祖先種コナスビとの交配可能性 / 掛澤明弘★* (京都大・院・理) ・戸部博 (京都大・院・理) ・篠原渉 (京都大・院・理)
- P-18 ○ 日本産スイカズラ属植物の花形態と訪花昆虫との関連性 / 中路真嘉*・菅原敬
- P-19 ○ タニウツギ属植物における花色変化の色素分析と分子系統解析 / 下川悟史* (首都大・牧野標本館) ・岩科司 (科博・植物) ・村上哲明 (首都大・牧野標本館)
- P-20 ○ 四国西部に生育する低地性2倍体タンポポ / 和食敦子★* (高知大・理) ・藤川和美 (牧野植物園) ・橋越清一 (愛媛県立大洲高等学校) ・松田真季 (愛媛県立大洲高等学校普通科2年) ・源紗耶加 (愛媛県立大洲高等学校普通科2年) ・芹沢俊介 (愛教大・生物)
- P-21 ○ オガサワラビロウにおける遺伝的分化と外部形態の変異 / 大谷雅人★* (森林総研) ・須貝杏子 (首都大・牧野標本館) ・谷尚樹 (国際農林水産セ) ・加藤英寿 (首都大・牧野標本館) ・吉丸博志 (森林総研)
- P-22 ○ シヤジクモ科藻類 *Nitella* 属の全系統関係の解明と新分類体系の構築に向けて / 坂山英俊* (神戸大・院・理・生物) ・Adriana Garcia (School of Earth and Environmental Sciences, University of Wollongong) ・野崎久義 (東京大・院・理・生物科学) ・伊藤元己 (東京大・院・総合文化・広域システム)
- P-23 ○ 87年ぶりに日本で再発見された地衣類ナガヒゲサルオガセ / 大村嘉人* (科博・植物) ・鬼丸和幸 (美幌博物館)
- P-24 ○ ラッコゴケ属 (ハイゴケ科) の分類学的研究 / 樋口正信* (科博・植物) ・有川智己 (鳥取県立博物館)
- P-25 ○ 空中の蘚苔類フロラ (予報) - 大気中に存在するコケ植物に関する基礎研究 - / 坪田博美* (広島大・院・理・宮島) ・半田信司 (広島県環保協) ・中原・坪田美保 (千葉中央博・同研究員) ・向井誠二 (広島大・院・理・宮島)
- P-26 ○ ゼンマイ類における連鎖地図と細葉形質に関する相関解析 / 角川 (谷田辺) 洋子* (東京大・院・理・植物園) ・堤千絵 (科博・植物) ・常木静河 (首都大・牧野標本館) ・平山裕美子 (科博・植物) ・篠原渉 (京都大・植物) ・村上哲明 (首都大・牧野標本館) ・加藤雅啓 (科博・植物)
- P-27 ○ 外来種アメリカシラネウラボシと在来種オクマワラビの交雑個体の出現 / 大塚孝一* (長野県環境保全研究所) ・上野勝典・上野由貴枝 (松本市) ・芹沢俊介 (愛教大・生物)
- P-28 ○ 西表島産4倍体ミモチシダの起源を探る / 松本定*・岩科司・田中法生・海老原淳・平山裕美子 (科博・植物) ・中村武久・皆川礼子 (東京農大) ・綿野泰行・高山浩司★ (千葉大・理)
- P-29 ○ 『伊豆半島植物誌』のためのデータベース構築 / 田中徳久 (神奈川県立生命の星・地球博物館)
- P-30 ○ 浮葉性ミクリ属からみた北海道雨竜沼湿原の植物地理学的特色について / 山崎真実* (札幌市博活動セ, 北海道大・院・農) ・高橋英樹 (北海道大・博物館)
- P-31 ○ 新潟県上越市におけるレッドリスト登録植物の現状 / 小山宏一*・五百川裕 (上越教育大・総合学習)
- P-32 ○ 絶滅危惧種ノダイオウと外来種エゾノギシギシの交雑による遺伝子侵食についての研究 / 白石和輝* (東北大学・院・生命科学) ・藤井伸二 (人間環境大) ・石濱史子 (環境研) ・牧雅之 (東北大・院・生命科学)

- P-33 侵略的外来種アメリカハマグルマの種子生産と海流散布の可能性について／島袋太一・傳田哲郎*・横田昌嗣
- P-34 表皮組織およびEST-SSR多型解析からみたシイの遺伝的分化／青木京子★* (京都大・院・地球環境学)・上野真義 (森林総研)・津村義彦 (森林総研)・加藤 真 (京都大・院・地球環境学)・村上哲明 (首都大・牧野標本館)
- P-35 水生植物ナガレコウホネ (スイレン科) の形態変異と遺伝的変異／志賀 隆* (大阪市立自然史博物館)・杉田勇治 (栃木県植物同好会)・横川昌史・兼子伸吾・井鷲裕司 (京都大学農学研究科)
- P-36 サトヤマタデとその近縁種の核DNA含量／坂本晃伸・加藤淳太郎・芹沢俊介* (愛教大・生物)
- P-37 ベニバナヤマシヤクヤクの個体群構造と開花サイズ／藤井俊夫* (人と自然の博物館)・樋口清一 (ささやまの森公園)・谷口次男 (ささやまの森公園)
- P-38 *Chrysosplenium epigealum* J.W.Han & S.H.Kang : A new species of *Chrysosplenium* (Saxifragaceae) from Korea／韓宗源 (世明大, 韓国)・張昌基 (公州大, 韓国) 1・姜信浩 (世明大, 韓国) *
- P-39 Current state of Korean endemic species *Chrysosplenium flaviflorum* Ohwi in South Korea／韓宗源 (世明大, 韓国)・轟善圭 (忠北大, 韓国) 1・張昌基 (公州大, 韓国) 2・姜信浩 (世明大, 韓国) *
- P-40 日本産ジシヨウゲ属/Daphne/の分子系統とフェノロジー進化／河原孝行* (森林総研・北海道)・東馬徹 (東大・院・植物園)・邑田仁 (東大・院・植物園)・山下直子 (森林総研・関西)・宮浦富保 (龍谷大・理工)・トーマス レイ (龍谷大・理工)
- P-41 ナワシログミ, オオバグミ, ツルグミの交雑現象の形態学的・遺伝学的解析／竹原正貴* (東北大・院・生命)・山城考 (徳島大・総合科学)・牧雅之 (東北大・院・生命)
- P-42 複数の核遺伝子マーカーにもとづくオオハマボウと近縁種の種分化過程の解明／高山浩司★* (千葉大・院・理, JSPS特別研究員PD)・立石庸一 (琉大・教育)・梶田忠 (千葉大・院・理)
- P-43 広水温度分布海草コアモモの遺伝的構造／田中法生* (国立科博・植物園)・伊藤 優 (東大・院・理・植物園)・平山裕美子 (国立科博・植物)・斎藤憲治 (水研セ・中央水研)・仲岡雅裕 (北大・北方生物圏フィールドセ)
- P-44 石垣島に分布するヤブミヨウガ属Pollia (ツユクサ科) について／大嶺孝幸* (琉大院・理工学研究科)・傳田哲郎・横田昌嗣 (琉大・理学部)
- P-45 形態および遺伝的変異より推察するユリ科シュロソウ属シュロソウの分布変遷と集団遺伝構造の形成プロセス／飯島郷司 (東北大・理・生物)*・高橋弘 (岐阜大・教育)・牧雅之 (東北大・院・生命科学)
- P-46 日本産チョウジソウ (*Amsonia elliptica*) の分子系統地理／加川敬祐 (北大・院・農・環境資源), 東隆行*, 富士田裕子 (北大・フィールド科学セ・植物園)
- P-47 日本産シソ科アキギリ属 (*Salvia*) の分子系統解析／高野温子* (兵庫県立人と自然の博物館)・岡田 博 (大阪市立大学附属植物園)
- P-48 日本産タカネシオガマ列植物の分子系統解析／寺本美穂子・藤井紀行* (熊本大・院・自然科学)
- P-49 カワラオモギ集団における河川の氾濫による遺伝的多様性の維持機構／西野貴子* (大阪府大)・山崎奈津子 (府立母子保健)・銭谷美乃里 (兵庫県)
- P-50 ノアザミ (キク科) の開花期にみられる小花の形態変化-雌株と両性株の比較-／小豆むつ子・布施静香*・高橋晃
- P-51 トウカイはなぜ強いのか?-タンポポ問題を繁殖干渉から検討する／西田佐知子* (名大・博)・西田隆義 (京大・農)・高倉耕一 (大阪市環境研)・松本崇 (京大・人環)
- P-52 タンポポが調査・西日本2010予備調査からみたカンサイタンポポの分布／鈴木武* (兵庫県立人と自然博)・狩山俊吾 (倉敷市立自然史博)・小川誠 (徳島県博)・高島耕一郎・木村進 (大阪自然保全協会)・布谷知夫 (滋賀県立琵琶湖博)
- P-53 愛知県におけるタンポポ調査／梅田育美・田舎片雄貴・戸谷元一・藤田真嗣・光成太輔 (愛教大・生物)・櫛田敏宏 (愛知県総合教育センター)・芹沢俊介・渡邊幹男* (愛教大・生物)
- P-54 最近愛知県で確認された帰化植物／瀧崎 吉伸 (豊橋市立東部中学校)
- P-55 兵庫県のクリンソウ大群落の個体群構造と保全活動／藤井俊夫* (人と自然の博物館)・多紀連山のクリンソウを守る会 (代表: 樋口清一)

14:00-18:00 一般講演 (第一共通棟301教室)

座長: 牧雅之 (東北大・院・生命)・傳田哲郎 (琉球大・理)・藤井紀行 (熊本大・院・自然科学)

- 14:00 L-13 ○ 琉球列島における *Ainsliaea* (キク科モミジハグマ属) 近縁種の系統進化／三井裕樹*・瀬戸口浩彰
- L-14 ○ 琉球列島とオーストラリア東南部に隔離分布するコケタンポポ属 *Solenogyne* Cass. (キク科シオン連) の分子系統地理／傳田哲郎 (琉球大・理)・國府方吾郎 (国立科学博物館)・Paul I. Forster (Queensland Herbarium)・Gary Wilson (Australian Tropical Herbarium)・彭鏡毅 (台湾中央研究院)・横田昌嗣 (琉球大大学院)
- L-15 ○ 分子情報を用いて明らかとなった日本列島における生物集団の遺伝構造とその変遷／瀬尾明弘★* (総合地球環境学研究所)・村上哲明 (首都大学東京・牧野標本館)・湯本貴和 (総合地球環境学研究所)
- L-16 ○ 海岸と琵琶湖岸に生育するハマエンドウの分子系統地理／大槻達郎* (京大・人環)・金子有子 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・瀬戸口浩彰 (京大・人環)

- 15:00 L-17 ○ 東日本に見られるトチノキの単一かつ広域な、葉緑体ハプロタイプ分布パターンの形成過程について／菅原可奈子*（京大・院・人環）・金子有子（琵琶湖研）・伊藤哲（宮崎大・農）・山中啓介（中間山研セ）・崎尾均（新潟大・農）・星崎和彦（秋田県立大・生物資源科学）・鈴木和次郎（森林総研）・山中典和（鳥取大・乾燥研セ）・瀬戸口浩彰（京大・院・人環）
- L-18 ○ 屋久島の高山性ミニチュア植物ヒメコナスビにみられる葉の形質の集団間変異／篠原渉*（京大・院・理）・掛澤明弘★（京大・院・理）・川瀬大樹（地球研）・阿形清和（京大・院・理）・戸部博（京大・院・理）・工藤洋（京大・生態研）
- L-19 ○ 核マイクロサテライトマーカーを用いたバイケイソウの系統地理学的解析／菊地諒*（東北大・院・生命科学）・高橋弘（岐阜大・教育）・Pak Jae-Hong (Kyung-Pook National Univ.)・牧雅之（東北大・院・生命科学）
- L-20 ○ 国境の長いトンネルを抜けると雪国ハプロタイプなのか？～三国峠におけるツリバナの種内遺伝構造について～／岩崎貴也*・戸野晶喬★（首都大・牧野標本館）・瀬尾明弘★（地球研）・村上哲明（首都大・牧野標本館）
- 16:00 L-21 ○ 樹形の変化とは異なる富士山におけるカラマツの標高に沿った均質な遺伝構造／西村正生（京大・総合人間）*・瀬戸口浩彰（京大・人環）

—休憩—

- L-22 ○ 集団の分断化が日本列島のミヤマハタザオの各集団の遺伝子型をランダムに固定した／東 広之*（京大・総人）・池田 啓・瀬戸口 浩彰（京大・人環）
- L-23 コメバツガザクラ（ツツジ科）の系統地理とPHYE遺伝子における自然選択／池田啓*（京都大・院・人環）・瀬戸口浩彰（京都大・院・人環）
- L-24 ハナゼキショウ（チシマゼキショウ科）の分割／田村 実*（京都大・院・理・植物）・布施静香（兵庫県立人と自然の博物館）・東 浩司（京都大・院・理・植物）・山下 純（岡山大・資生研）・金 眞玉（梨花女大・自然科学）・李 南淑（梨花女大・自然科学）・石井孝明（大阪市大・院・理・植物園）
- 17:00 L-25 インドネシア・ロンボク島の植物の多様性の研究：DNAバーコードを利用したアプローチ／戸部 博*・篠原 渉・東 浩司・河野真澄・川口絵里（京大・院・理・植物）・Nanda Utami・Harry Wiradinata・Deden Girmansyah（インドネシア科学院）・荻沼一男（高知女子大）・徳岡 徹（静岡大・理）・伊藤元巳（東大・総合文化）
- L-26 単細胞接合藻におけるホモタリズムの分子系統／土金勇樹★★・加納亜子・関本弘之（日本女子大学・理・物生）
- L-27 Blast searchを活用したキノコ類の分布パターンのベイズ推定／佐藤博俊*（森林総研・学振PD）・辻野亮（総合地球環境学研究所）・栗田和樹（京都大・院・理）・横山和正（滋賀大）・阿形清和（京都大・院・理）

3月27日(土)

9:00-13:15 一般講演（第一共通棟301教室）

座長：村上 哲明（首都大・牧野標本館）・永益英敏（京大・総合博物館）

- 9:00 L-28 古第三系神戸層群の材化石群集に植物相変遷が見られるか？／寺田 和雄★★（福井県立恐竜博物館）・半田 久美子（兵庫県立人と自然の博物館）
- L-29 シダ植物配偶体の形態進化と菌共生／迫田曜*1・辻田有紀2・海老原淳3・遊川知久3・今市涼子1（1日女大・理, 2ダンディール大学, 3科博・植物）
- L-30 伊豆大島における有性生殖型ハチジョウベニシダと無配生殖型ベニシダ類の分布／山本 薫（首都大・牧野標本館）・小川 信正（東京都大島町）・大槻 涼（首都大・牧野標本館）・中路 真嘉（首都大・牧野標本館）・加藤 英寿（首都大・牧野標本館）・菅原 敬（首都大・牧野標本館）・村上 哲明*（首都大・牧野標本館）
- L-31 ベニシダの生殖——多様性を産む有性生殖型の「女王」と母親になる無配生殖型？／林蘇娟*・宮本明奈
- 10:00 L-32 ヒメミゾシダ, ミゾシダとさまざまな稔性度の2倍体雑種群／中藤成実（所属なし）*・海老原淳・加藤雅啓（科博・植物）
- L-33 サクライソウに含まれるフラボノイド：オゼソウとの植物化学的比較／岩科 司*・遊川知久（国立科博・植物）・高橋 弘（岐阜大・教育）・戸部 博（京都大・院・理・生物）
- L-34 対馬産アカショウマ類植物（ユキノシタ科）について／門田裕一*・科博
- L-35 四国産シコクショウマ（新称）／秋山 忍*・門田裕一・海老原 淳・平山裕美子（国立科学博物館植物研究部）

—休憩—

- 11:15 L-36 南アジアと東南アジアで栽培されているナシ属植物は*Pyrus pyrifolia*である／池谷祐幸*1・片山寛則2・植松千代美3・間瀬誠子1・山本俊哉1（1果樹研究所；2神戸大学農学部；3大阪市立大学理学部）
- L-37 ヒュウガセンキュウの系統分類学的研究／望月啓太*・東浩司・戸部博・永益英敏（京大・総合博物館）
- L-38 日本産ボチョウジ属（アカネ科）植物における繁殖様式の多様化／菅原 敬*（首都大・牧野標本館）・渡邊謙太（沖縄高専）・湯本真由美（首都大・生命科学）・常木静河（首都大・牧野標本館）
- L-39 奄美大島固有種アマミアワゴケ（アカネ科）の分類学的再検討／國府方吾郎*1・中村剛★2,3・平山裕美子1・横田昌嗣3（1科博・植物, 2台湾中央研究院, 3琉大・理・海洋自然）

- 12:00 L-40 シッキム・ヒマラヤ産タヌキノシヨクダイ属 (ヒナノシヤクジョウ科) の一新種/黒沢高秀 (福島大学・共生システム理工学類)
- L-41 根茎に注目した狭義ミヤマカンスゲ *Carex multifolia* Ohwi var. *multifolia* の分類学的再検討 / 織田二郎*・永益英敏
- L-42 維管束植物固有種から見た日本の多様性ホットスポット/海老原淳*・門田裕一・秋山忍・國府方吾郎・遊川知久・堤千絵・奥山雄大・岩科司・田中法生・小山博滋・加藤雅啓 (科博・植物)
- L-43 リネージ種概念・生物体系学・生物の命名規約をつなぐ新たな枠組み/直海俊一郎* (千葉県立中央博物館)

13:15-14:30 ポスター発表 (第一共通棟303教室)

※発表は26日(金)と同じ

14:30-17:15 総会・学会賞授与式・受賞記念講演 (第一共通棟301教室)

学会賞：瀬戸剛 (元 大阪市立自然史博物館 主任学芸員)
野崎久義 (東京大学大学院理学系研究科 准教授)
奨励賞：角川(谷田辺)洋子・田中伸幸・仲田崇志

- 16:00 学会賞 淡水藻類分類の一研究者の軌跡 “時の流れに身をまかせて” / 野崎久義
- 16:30 奨励賞 シダ植物を材料とした種分化研究 / 角川(谷田辺) 洋子 (東京大・院・理・植物園)
- 16:45 奨励賞 フロラの地理的空白地帯・ミャンマーの植物多様性とインベントリー / 田中伸幸 (高知県立牧野植物園)
- 17:00 奨励賞 単細胞性オオヒゲマワリ目の分類体系の再構築に向けて / 仲田崇志 (慶大・先端生命研)

18:00-20:00 懇親会 (第二福利施設[UP])

3月28日(日)

8:30-13:00 エクスカーション (瀬戸市広久手町寺山川シデコブシ自生地)

13:30-16:30 一般公開シンポジウム 「生物多様性保全における拠点機関の役割-COP10を契機として」 (名古屋科学館生命館地下 サイエンスホール)

コーディネーター：芹沢俊介 (愛教大・生物)
共催：名古屋市

- 13:30 趣旨説明
- 13:35 東海地方の豊かな生物多様性と名古屋市の取り組み 愛知学泉大学 矢部 隆
- 14:05 市民の調査活動拠点としての自然史博物館-神奈川県植物誌調査会の活動から
神奈川県立生命の星・地球博物館 勝山輝男
- 14:35 タンポポ調査・西日本と博物館ネットワーク 徳島県立博物館 小川 誠

—休憩(5分)—

- 15:10 地域生物多様性の研究と生物多様性保全 愛知教育大学 芹沢俊介
- 15:25 市民が望む生物多様性センター ため池の自然研究会 大沼淳一
- 15:40 総合討論

注1) 今回の大会の公開シンポジウムは、今秋のCOP10に向けて、植物分類学研究の重要性を地域や市民に理解してもらうことを主目的としています。そのため、COP10受け入れの中心となる名古屋市と共催し、会場もテーマも、大会参加者よりむしろ来場いただく市民の都合やニーズを考えて設定してあります。大会参加者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますよう、お願いいたします。

注2) 愛知教育大学の標本室は、スペースが狭く満杯状態で、標本の出し入れが容易でなく、通常の標本室のように開架方式で利用していただくことができません。標本をご覧になりたい方は、25日は対応いたしますので、ご連絡ください。26-29日はおそらく対応不能です。